

平成19年度

決算の概要

姫路市

目 次

1. 一般会計	1
ア 対前年度比較(総括)	1
イ 構成比	2
ウ 対予算比較(款別)	3
2. 特別会計	5
3. 企業会計	6
4. 基金・地方債	7
5. 財政健全化指標	8
6. 普通会計財政分析表	9

1 一般会計

姫路市の平成19年度決算は、各種事業を着実に推進した結果一般会計の歳入が 2,005億3,796万円、歳出が1,923億298万5千円で、形式収支は82億3,497万5千円、ここから翌年度への繰越財源25億227万3千円を差し引いた実質収支は57億3,270万2千円となり、昭和43年度以来40年連続の黒字となった。

(単位 千円)

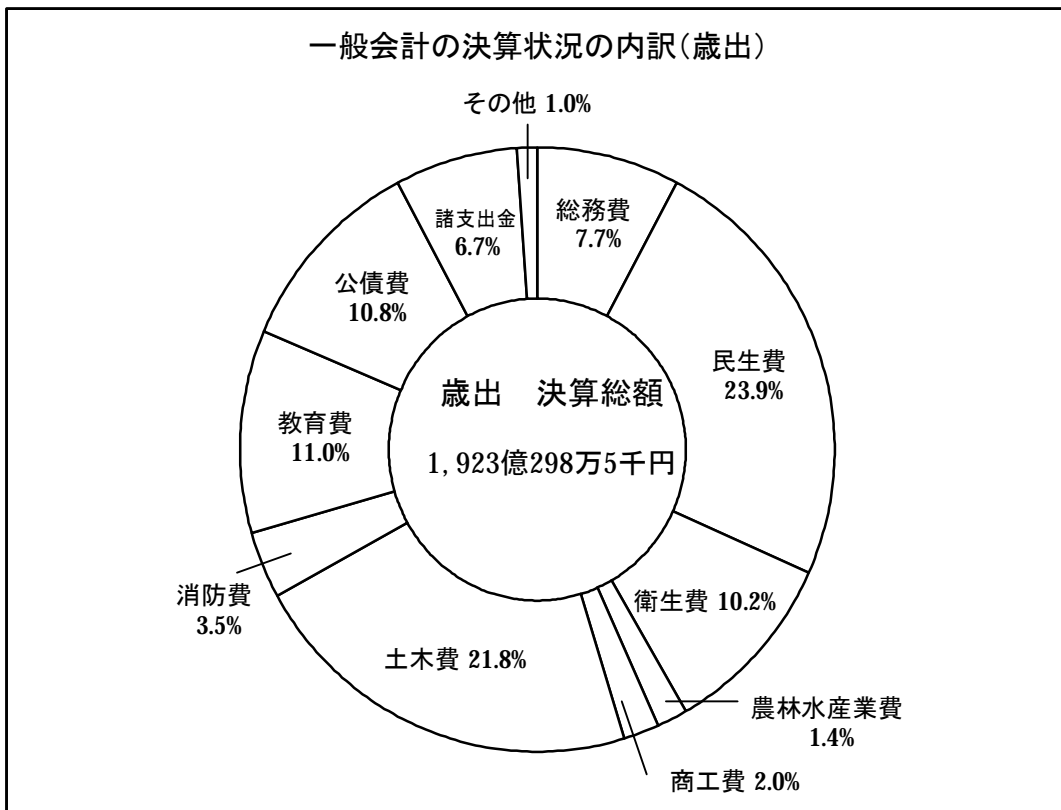
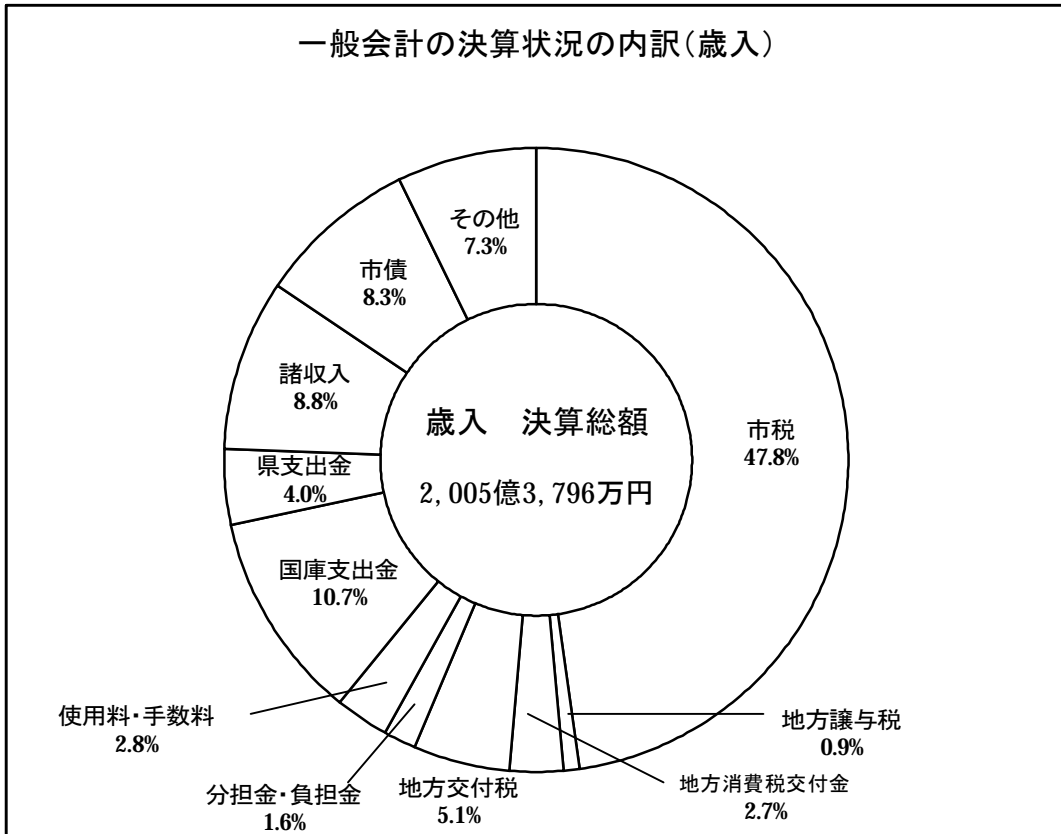
区分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	繰越財源	実質収支
一般会計	200,537,960	192,302,985	8,234,975	2,502,273	5,732,702

ア 対前年度比較 (総括)

(単位 百万円、%)

事項	19		18		比較	
	決算額	執行率	決算額 F	執行率	金額 G	増減率 G/F
歳入 A	200,538	92.5	196,146	93.5	4,392	2.2
歳出 B	192,303	88.7	186,885	89.1	5,418	2.9
形式収支(A-B) C	8,235	/	9,261	/	△ 1,026	△ 11.1
繰越財源 D	2,503		2,499		4	0.2
実質収支(C-D) E	5,732		6,762		△ 1,030	△ 15.2
翌年度への繰越額	10,524	93.5	9,748	93.7	776	8.0

イ 構成比



ウ 対予算比較（款別）

（歳入）

（単位 千円、％）

款名	予算現額	調定額	決算額	不納欠損額	収入未済額	執行率
市税	97,300,000	101,854,678	95,866,793	514,107	5,473,778	98.5
地方譲与税	1,760,000	1,746,092	1,746,092			99.2
利子割交付金	340,000	378,263	378,263			111.3
配当割交付金	330,000	454,247	454,247			137.7
株式等譲渡所得割交付金	470,000	306,294	306,294			65.2
地方消費税交付金	5,430,000	5,413,127	5,413,127			99.7
ゴルフ場利用税交付金	90,000	96,994	96,994			107.8
自動車取得税交付金	1,200,000	943,065	943,065			78.6
国有提供施設等 所在市助成交付金	6,713	7,144	7,144			106.4
地方特例交付金	830,000	638,914	638,914			77.0
地方交付税	8,900,000	10,249,374	10,249,374			115.2
交通安全対策交付金	137,000	137,955	137,955			100.7
分担金・負担金	3,461,765	3,261,447	3,187,673	11,537	62,237	92.1
使用料・手数料	5,993,295	5,822,958	5,704,802	2,023	116,133	95.2
国庫支出金	25,671,671	25,574,121	21,544,302		4,029,819	83.9
県支出金	8,475,940	8,117,310	8,006,290		111,020	94.5
財産収入	2,153,241	1,742,127	1,741,739		388	80.9
寄附金	284,254	215,887	215,887			75.9
繰入金	278,658	197,740	197,740			71.0
繰越金	8,260,812	9,260,812	9,260,812			112.1
諸収入	18,046,577	18,340,588	17,732,970	15,737	591,881	98.3
市債	27,490,600	16,707,483	16,707,483			60.8
合計	216,910,526	211,466,620	200,537,960	543,404	10,385,256	92.5

(歳出)

(単位 千円、%)

款名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	現年度執行率	繰越を含めた執行率
議会費	1,044,878	988,156		56,722	94.6	94.6
総務費	16,699,578	14,715,974	147,525	1,836,079	88.1	89.0
民生費	48,095,071	45,973,733		2,121,338	95.6	95.6
衛生費	24,767,804	19,555,852	3,816,535	1,395,417	79.0	94.4
労働費	966,419	943,152		23,267	97.6	97.6
農林水産業費	4,068,394	2,737,179	880,422	450,793	67.3	88.9
商工費	3,949,200	3,759,318		189,882	95.2	95.2
土木費	50,712,525	41,925,485	4,111,244	4,675,796	82.7	90.8
消防費	7,126,369	6,798,445		327,924	95.4	95.4
教育費	24,600,365	21,238,685	1,568,286	1,793,394	86.3	92.7
災害復旧費	562	555		7	98.8	98.8
公債費	21,659,721	20,769,172		890,549	95.9	95.9
諸支出金	13,080,663	12,897,279		183,384	98.6	98.6
予備費	138,977			138,977		
合計	216,910,526	192,302,985	10,524,012	14,083,529	88.7	93.5

2 特別会計

平成19年度特別会計の決算について、13特別会計合計では、歳入が1,608億9,493万8千円、歳出が1,572億8,261万1千円で差し引き、形式収支36億1,232万7千円、翌年度への繰越財源680万円を差し引いた実質収支は36億552万7千円の黒字となった。会計別では、老人保健医療事業特別会計及び駐車場事業特別会計で赤字決算となっている。

(単位 千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	繰越財源	実質収支	不納欠損額	収入未済額	一般会計繰入金
中央卸売市場事業	1,054,750	934,212	120,538		120,538		3,981	354,492
下水道事業	37,438,584	37,431,784	6,800	6,800	0	19,963	1,490,297	14,082,532
水洗便所普及奨励事業	60,623	60,623	0		0		10,008	1,607
集落排水事業	798,752	788,248	10,504		10,504		5,606	489,845
食肉センター事業	243,925	242,948	977		977			97,669
母子・寡婦福祉資金貸付	74,664	58,379	16,285		16,285		39,695	3,398
国民健康事業勘定	54,979,348	51,285,725	3,693,623		3,693,623	757,614	2,554,955	3,796,937
保険事業直営診療施設勘定	299,734	186,141	113,593		113,593			
介護保険事業	27,332,385	26,207,088	1,125,297		1,125,297	73,523	262,606	3,573,681
老人保健医療事業	38,183,159	38,507,138	△ 323,979		△ 323,979			2,986,192
奨学学術振興事業	24,997	24,997	0		0			
財政健全化調整	98,252	98,165	87		87			
駐車場事業	229,536	1,380,934	△ 1,151,398		△ 1,151,398			144,120
土地取得	76,229	76,229	0		0			
合計	160,894,938	157,282,611	3,612,327	6,800	3,605,527	851,100	4,367,148	25,530,473

対前年度比較(総括)

(単位 百万円、%)

事項	19		18		比較	
	決算額	執行率	決算額 F	執行率	金額 G	増減率 G/F
歳入 A	160,895	94.5	148,211	92.5	12,684	8.6
歳出 B	157,283	92.3	144,841	90.4	12,442	8.6
形式収支(A-B) C	3,612	/	3,370	/	242	7.2
繰越財源 D	7		3		4	133.3
実質収支(C-D) E	3,605		3,367		238	7.1
翌年度への繰越額	2,729	94.0	3,012	92.3	△ 283	△ 9.4
実質収支の赤字会計 (億円)	老人保健 駐車場	△ 3.2 △ 11.5	食肉センター 老人保健 駐車場	△ 1.1 △ 3.3 △ 10.4		

3 企業会計

平成19年度企業会計決算では、4会計のうち、水道事業会計、交通事業会計及びコミュニティ・プラント事業会計の3会計が黒字となり、都市開発整備事業会計が赤字となった。

(1) 水道事業

(単位:千円)

	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	11,207,168	11,095,045	112,123	3,277,577	7,631,416	△ 4,353,839
決算額(B)	10,534,145 (10,061,677)	10,221,307 (9,823,544)	312,838 (238,133)	2,222,985 (2,215,734)	7,043,598 (6,961,642)	△ 4,820,613 (△4,745,908)
(A)-(B)	673,023	873,738	△ 200,715	1,054,592	587,818	466,774

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

(2) 交通事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	1,584,039	1,583,388	651	1,500	208,160	△ 206,660
決算額(B)	1,527,449 (1,496,847)	1,381,103 (1,350,622)	146,346 (146,225)	1,213 (1,213)	151,349 (151,293)	△ 150,136 (△150,080)
(A)-(B)	56,590	202,285	△ 145,695	287	56,811	△ 56,524

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

(3) 都市開発整備事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	1,506,153	1,502,153	4,000	2,000,000	3,547,335	△ 1,547,335
決算額(B)	1,036,590 (1,035,760)	1,113,484 (1,112,654)	△ 76,894 (△76,894)	2,000,000	3,115,638	△ 1,115,638
(A)-(B)	469,563	388,669	80,894	0	431,697	△ 431,697

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

(4) コミュニティ・プラント事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	1,053,427	1,044,244	9,183	520,646	1,077,054	△ 556,408
決算額(B)	1,029,014 (1,018,750)	945,909 (935,663)	83,105 (83,087)	531,295 (531,295)	1,073,645 (1,073,632)	△ 542,350 (△542,337)
(A)-(B)	24,413	98,335	△ 73,922	△ 10,649	3,409	△ 14,058

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

4 基金・地方債

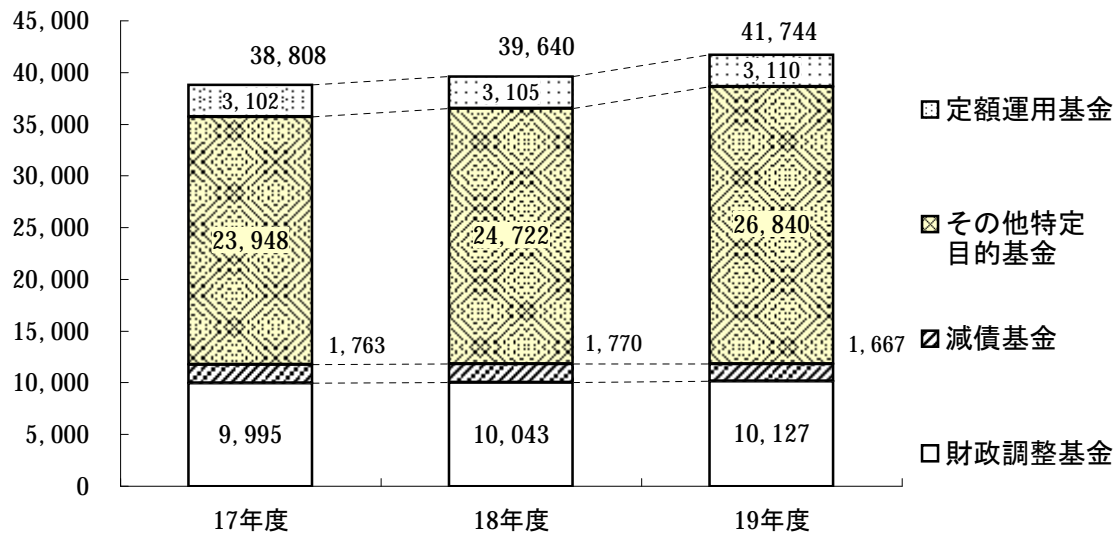
(1) 基金年度末現在高の推移(平成17年度～19年度)

基金の19年度末現在高は417億4,370万7千円で、前年度比 21億373万円の増となった。

(単位 千円)

区 分	平成17年度末現在高	平成18年度末現在高	平成19年度末現在高
財政調整基金	9,994,892	10,043,045	10,127,201
減債基金	1,763,452	1,769,820	1,666,363
その他特定目的基金	23,947,953	24,722,250	26,839,929
定額運用基金	3,101,726	3,104,862	3,110,214
合 計	38,808,023	39,639,977	41,743,707

単位 百万円



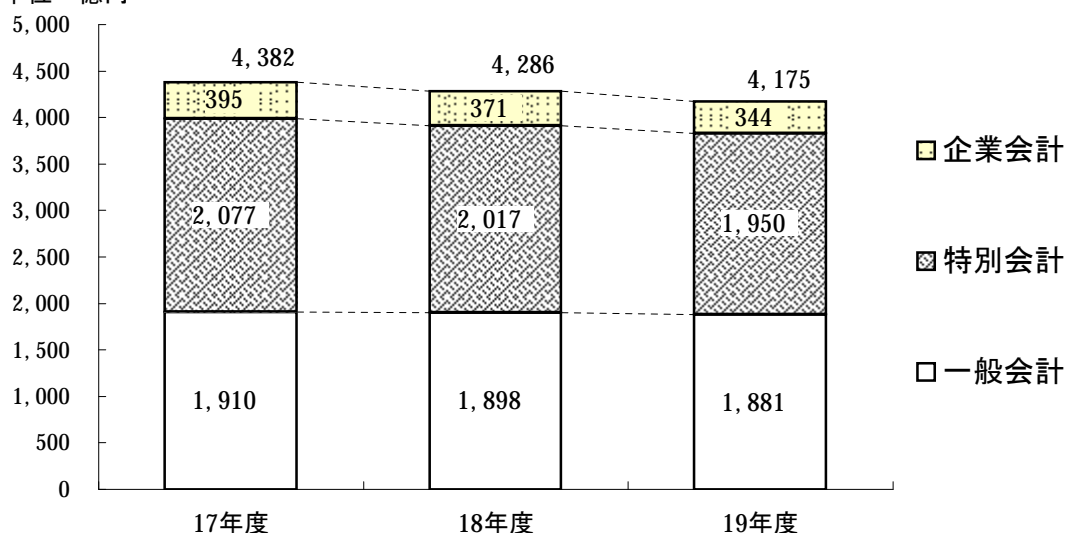
(2) 地方債年度末現在高の推移(平成17年度～19年度)

地方債の19年度末残高は企業会計も含めた全会計で、4,175億993万9千円と、前年度比110億9,221万2千円の減となった。

(単位 千円)

区 分	平成17年度末現在高	平成18年度末現在高	平成19年度末現在高
一般会計	190,991,499	189,841,894	188,091,077
特別会計	207,689,262	201,674,423	194,968,171
企業会計	39,560,203	37,085,834	34,450,691
合 計	438,240,964	428,602,151	417,509,939

単位 億円



5 財政健全化指標

【健全化判断比率】

(単位 %)

分析項目	19年度	早期健全化基準	財政再生基準	説明
実質赤字比率	—	11.25	20.0	<p>普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率</p> <p>(算式)</p> $\frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
連結実質赤字比率	—	16.25	40.0	<p>全会計を対象とした実質赤字(又は資金不足額)の標準財政規模に対する比率</p> <p>(算式)</p> $\frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
実質公債費比率 ()内は単年度の実質公債費比率	11.0 (11.5)	25.0	35.0	<p>全会計に一部事務組合等を加えた会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率</p> <p>(算式)</p> $\frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{(\text{標準財政規模} - \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \times 100$ <p>の3年度間の平均値</p>
将来負担比率	104.9	350.0		<p>地方公社・第三セクター等を含む会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率</p> <p>(算式)</p> $\frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \times 100$

※総務省提出数値による

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字の場合数値なしとなる

※標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額を加えた額

【資金不足比率】

(単位 %)

分析項目	19年度	経営健全化基準	財政再生基準	説明
資金不足比率 【法適用企業】 (水道事業会計) (交通事業会計) (都市開発整備事業会計) (コミュニティ・プラント事業会計) 【法非適用企業】 (中央卸売市場事業特別会計) (下水道事業特別会計) (集落排水事業特別会計) (食肉センター事業特別会計)	—	20.0		<p>公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率</p> <p>(算式)</p> $\frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}} \times 100$

※総務省提出数値による

※資金不足比率は資金の不足額がない場合数値なしとなる

6 普通会計財政分析表

(単位 %)

分析項目	19年度	18年度	17年度	算 式
財政力指数 ()内は単年度の財政力指数	0.881 (0.915)	0.849 (0.882)	0.825 (0.845)	単年度財政力指数 $\left(\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \right)$ の3年度間の平均値
経常一般財源比率 ()内は減税補てん債を経常一般財源収入額から除いた比率	99.1 (99.1)	103.2 (102.5)	104.3 (103.4)	$\frac{\text{経常一般財源収入額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
経常収支比率	85.5	80.0	79.7	$\frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源総額}} \times 100$
実質収支比率	5.0	5.9	5.3	$\frac{\text{実質収支額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
公債費比率	11.7	12.6	13.1	$\frac{\text{地方債元利償還充当一般財源} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費}}{\text{標準財政規模} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費}} \times 100$
起債制限比率 ()内は単年度の起債制限比率	9.5 (8.9)	9.9 (9.7)	10.0 (9.9)	$\frac{\text{地方債元利償還充当一般財源} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費} - \text{事業費補正に係る財政需要額算入公債費}}{\text{標準財政規模} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費} - \text{事業費補正に係る財政需要額算入公債費}} \times 100$ の3年度間の平均値

※総務省提出の地方財政状況調査による

※標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額を加えた額

※経常一般財源収入額は、平成19年度は臨時財政対策債、平成18年度及び平成17年度は臨時財政対策債及び減税補てん債等を加えた額

※経常一般財源総額は、平成19年度は臨時財政対策債、平成18年度及び平成17年度は臨時財政対策債及び減税補てん債等を加えた額